

2023年（令和5年）4月26日

授業担当者各位

中京大学

ChatGPT 等をはじめとする生成系 AI への対応について

ChatGPT 等をはじめとする生成系人工知能(以降、生成系 AI)の進展は目覚ましく、社会において期待とともに大きな注目を集めています。一方で、教育においては生成系 AI の利用における懸念点も多く、その利用については慎重な判断が必要です。また、生成系 AI が日常的に利用できる状況であることから、現時点における生成系 AI の利用について以下の通りお知らせします。

<学生による生成系 AI の利用に関する通知（注意）>

レポートや学位論文等の作成、課題への取組等において、生成系 AI のみを用いて作成することは禁止する。なお、その使用範囲については授業担当教員の指示に従うこと。

（留意事項）

○学生によるレポートや学位論文等の作成、課題への取組等においては、その過程で生成系 AI を利用しているかの判断は難しいため、各授業の学修到達目標に照らし合わせながら、学生への注意喚起とともに、課題の提示方法や確認方法において留意いただきたい。

（現時点における対応例）

- ・授業における学修到達目標の達成には、生成系 AI の利用（回答をそのまま利用する等）が阻害要因になりうることを適宜アナウンスする（自身の知識や学びとにならない）。
- ・生成系 AI の導く回答には誤りが含まれること、場合によっては剽窃となることを注意喚起する。
- ・提出後の課題に対して、可能であれば口述試験等による内容確認を行う。
- ・事前に生成系 AI を利用した結果を確認した上で（学生にもその結果を公開した上で）、課題内容を検討・提示する。
- ・生成系 AI の利用が困難な状況（授業中や試験期間における教室等）において、レポートを作成させる。 等

○生成系 AI へ入力した情報は内部情報として取り込まれ、他の人の質問により漏洩する可能性があるため、個人情報また業務上取得した機密情報や未発表の研究関連の情報など、外部に漏洩してはならない情報については、生成系 AI に入力しないようご注意ください。

○研究に係る生成系 AI の利用に関する対応については、今後検討のうえご案内する予定です。

なお、今後も生成系 AI が取り巻く社会情勢や学内外における教育・指導のあり方等を踏まえ、必要に応じて生成系 AI の利用に関する見直しを行う予定です。

以上